



2019年10月10日

各位

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 常俊 清治
(コード番号 6969 東証第2部)
問合せ先 常務取締役執行役員総務経理部門長 網谷 嘉寛
(TEL 06-6332-0871)

当社の事業の現状及び今後の事業展開等について

当社は、下記のとおり、事業の現状及び今後の事業展開等について、株式会社東京証券取引所に対し、同社有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文に定める書面を提出いたしましたので、お知らせいたします。

本書面の提出により、2020年4月末日までのいずれかの月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上になった時は、同上場廃止基準に該当しないこととなります。

当社は、この度、時価総額基準に抵触いたしましたが、下記「2. 今後の展開について」に記載いたしました事業計画の推進により、業績の向上を図り、市場の信頼を回復することによって、今後も東京証券取引所市場第二部上場を維持するよう努めてまいります。

記

1. 事業の現状について

(1) 経営の基本方針

当社は、1949年12月に創業し、「企業の存在を許容するのは、お客様である」ことを原点に、世界中のお客様の信頼を得ることができる価値ある技術商品の開発・製造・販売を事業活動の軸とする「技術立社」であり続けることを経営の基本理念としています。この経営理念の推進により、経済的・環境的・社会的に持続可能な質の高い成長を目指し、株主価値の向上等を図ることができるよう経営に取り組んでおります。

なお、当社情報の詳細につきましては、下記の当社ホームページをご参照ください。

当社ホームページアドレス (<https://www.ncc-matsuo.co.jp/ir/investor/ataglance/>)

(2) 当社の事業の現状

当社の2020年3月期第1四半期累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)の業績は、売上高964百万円、営業利益7百万円、経常利益24百万円、四半期純損失6百万円となりました。

四半期純損失計上の主要因は、コンデンサ取引に関する当局等の調査対応のための弁護士報酬等の独占禁止法等関連損失28百万円の計上によるものです。

なお、セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

コンデンサとは一時的に電気を蓄える電子部品で、小形かつ長寿命で信頼性を高めるために、希少金属であるタンタルを利用したものがタンタルコンデンサです。タンタルコンデンサ事業につきましては、自動車電装を始めとするカーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサの需要が低調に推移しました。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は、756百万円、セグメント利益は、66百万円となりました。

② 回路保護素子事業

回路保護素子とは、過電流や過電圧(静電気)からその回路を保護又は加熱や発火といった事故を防止する目的で使用される電子部品です。回路保護素子事業につきましては、車載用回路保護素子及びリチウ

ムイオン電池向けの高電流ヒューズの需要が好調に推移しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は、172 百万円、セグメント利益は、43 百万円となりました。

③ その他

その他の売上高は、35 百万円、セグメント利益は、0 百万円となりました。

また、最近の当社の業績の推移は下表のとおりです。

(単位：百万円)

区分	期別	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 第1四半期 累計期間
		2014年4月1日 ～2015年3月31日	2015年4月1日 ～2016年3月31日	2016年4月1日 ～2017年3月31日	2017年4月1日 ～2018年3月31日	2018年4月1日 ～2019年3月31日	2019年4月1日 ～2019年6月30日
売上高		5,648	4,684	4,484	4,733	4,383	964
営業利益又は営業損失 (△)		△266	△296	△281	162	91	7
経常利益又は経常損失 (△)		△240	△284	△266	148	53	24
当期(四半期)純損失 (△)		△1,139	△1,748	△1,136	△115	△647	△6
総資産額		8,080	7,080	6,209	6,006	5,784	5,733
純資産額		5,756	3,850	2,628	2,405	1,757	1,751

※2015年3月期以降の個別の状況を記載しています。

2. 今後の展開について

当社の売上高は、2019年以降、米中貿易摩擦の影響等により、自動車電装を始めとするカーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサの需要が低迷しています。一方で、販売重点製品である、補聴器等の医療機器向けの下面電極構造のタンタルコンデンサ、車載用回路保護素子及び高電流ヒューズの売上高は、計画を達成し好調に推移しています。

また、2019年10月1日に、販売促進ツールとして、当社ホームページに中国語字幕入りの当社の事業及び製品紹介の動画を公開しました。これで、日本語、英語と合わせて3か国語の動画を公開したことになります。

タンタルコンデンサ事業につきましては、当社が世界に先駆けて開発し高密度実装が可能な下面電極構造のタンタルコンデンサの新製品開発を推進し、補聴器等の医療機器向けの売上高の増加を図ります。

回路保護素子事業につきましては、新製品開発により車載用回路保護素子及び高電流ヒューズに関する売上高の増加を図り、また、2019年3月1日付で当社の連結子会社であった島根松尾電子株式会社を吸収合併した統合効果も合わせ、収益性の向上を図ります。

当社としましては、現在、中期経営計画(2018年3月期から2020年3月期)を推進しております。

この中期経営計画では、売上高の増加を図る一方、その売上高で利益の出る費用構造の実現を喫緊の課題としました。その対応状況につきましては、成長品種の生産地を福知山工場に移管し、当社の主力工場である福知山工場の損益の黒字化を図る目標を達成し、合わせて、当社の製品構成を見直し、不採算品種を段階的に縮小する採算重視の営業活動を推進しています。

今後は、組織的営業力を強化し、新規顧客の獲得及び既存顧客からの受注増加を目指すことで、売上高及び営業利益の増加を図ります。また、独占禁止法及び競争法に係る件については、着実に早期解決を目指すとともに、新たに強化したコンプライアンス管理体制を維持し、再発防止を図っております。

なお、当社の中期経営計画の詳細につきましては、下記の当社ホームページをご参照ください。

当社ホームページアドレス (<https://www.ncc-matsuo.co.jp/ir/management/plan/>)

3. 今後の見通し及び上場維持について

当社は、2020年3月期通期業績予想につきましては、2019年5月15日付で公表し、売上高4,400百万円（前年同期比0.4%増加）、営業利益150百万円（前年同期比64.8%増加）、経常利益130百万円（前年同期比145.3%増加）、当期純利益70百万円（前年同期は647百万円の損失）としています。

「2. 今後の展開について」に掲げました施策の実施等により、今後、業績予想の修正が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上のように、業績改善を図り、市場からの信頼回復と企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。これにより、当社株式の月間平均時価総額及び月末時価総額について、株式会社東京証券取引所の定める基準を上回ることにより、今後も東京証券取引所市場第二部上場を維持すべく努力してまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上